

杉崎真之助

大阪芸術大学デザイン学科教授
グラフィックデザインコース

大阪芸術大学デザイン学科で教育にも関わるグラフィックデザイナーの著者が、これまでに仕事で気づいた考えや授業で話した内容などをまとめた一冊。「この本は、短いテキストとビジュアルの見開き単位で、前後がゆるやかにつながるストーリーになっています。まずパラパラと全体を見て、最初からでも、気になったところからでも読みはじめてください」。

著者は教育の現場において、デザインを体系的に伝える必要を強く感じていた。デザインの広がりとともに、学生にとっては、原理からきちんと理解する時間と機会が失われがちなのだ。「テクニックをしっかりとめたらしい本がたくさんあるのに、グラフィックデザインっていったい何なのかを簡単につかめる本には、なかなか出せない。ネット検索は便利ですが、情報が断片なので全体像が見えません」。

「みなさんの疑問や質問に答えるつもりで5つの章にまとめました」。著者は手書きのスケッチ、テキストデータ、折々のアイデア、気づき、考えの断片を整理しながら、長年の蓄積を集約している。タイトル「アタマとカラダでわかる」に込めた意味のひとつは、デザインの出発点とその対象は脳による知覚と身体感覚であること。もうひとつは、デザインは思考の組み立てと身体知の蓄積で表現されるということ。

「初心者向けのようにも見えますが、ノウハウを詰め込みたい人には少しもの足りないかも知れません。まずデザインへの興味のトビラを拓き、そこから本質をさぐっていけるように情報に余白をもたせてある。「ちょっと予想外だったのは、本質がよく伝わるというベテランのデザイナーからの声や、参考書として使いやすいという教育の現場からの評価も多く、今年後半から試験的にデザイン学科の授業に導入しています」。

デザインの考え方を「アタマ」でつかんで、つくり方を「カラダ」で理解するビジュアルエッセイといえる。



見て・読んで・感じて・知る。デザインの基礎体力をつけるためのビジュアルブック。



書名：アタマとカラダでわかるデザイン
出版社／発行元：バイインターナショナル
著者：杉崎真之助
A5判 ソフトカバー 240ページ
カラー 1,800円＋税
ISBN：978-4-7562-5207-4 C3070



■プロフィール
杉崎真之助 Shinnoske Sugisaki
デザインは理解をデザインする情報の設計と感動をデザインする印象の設計であると捉え、明快で良質なコミュニケーションの実現をめざす。大阪芸術大学教授、真之助デザイン代表、AGI会員。
www.shinn.co.jp shinn@shinn.co.jp
#アタマとカラダでわかるデザイン

大阪芸術大学デザイン学科
昭和50年卒 (D1083)

